

鳥羽市・サンタバーバラ市中学生交換派遣事業から

4人の中学生の

ホームステイ体験記



市内の4人の中学生が7月29日から8月8日まで、姉妹都市サンタバーバラ市(米国)を訪れました。参加したみなさんに、サンタバーバラでの体験や、ホストファミリーとの交流についてお話しいただきました。

ホームステイを終えて

鳥羽東中2年 木場 瞭太

サンタバーバラに着いてバスから降りるとジョナの家族がハグ(抱擁)で迎えてくれました。その瞬間、不安や緊張が解けて、これから始まる



サンタバーバラ市役所の前で記念撮影

サンタバーバラでの生活が期待でいっぱいになりました。

ジョナはスポーツマンで、バスケットやフットボールをよくしました。湿度が低くて過ごしやすかったので外で遊ぶのが気持ちよかったです。

ほとんど夜は、家族でボードゲームを楽しみました。心配していた会話も、僕が単語を並べて伝えようとするのをわかるまで一生懸命聞いてくれました。そして、ジョナは話して理解できないとアイコンで翻訳して伝えてくれたので、いろいろな事を話すことができました。僕とジョナはタイプが似ているので一緒にいて楽しかったです。

プールパーティーでみんなで飛び込んで遊んだり、川で泳いだのも気持ちよかったです。海もきれいで、釣りに行く

た時にアシカが近くで泳いでいたのでびっくりしました。

ジョナも両親もやさしくて、家族のように接してくれました。帰国してからも「瞭太がいなのが寂しい。いつでも来てね」と何度もメールを送ってくれて、秋にジョナのお母さんが来るのが決まりました。「これからもずっと親友」と



大きなピザを前にする木場君とジョナ

ジョナが言ってくれたように、今回のホームステイが思い出で終わるのではなく、これからも交流を続けたいと思います。いつか、またサンタバーバラに行きたいです。今回お世話になった人たちに感謝しています。良い経験させていただき、本当にありがとうございます。

サンタバーバラの感想

鏡浦中2年 山本 彩葉

わたしは、外国に行くのは初めてですごく緊張しました。だけど、サンタバーバラの家族は親切で、楽しく安心して過ごせました。

エリザベスの両親は日本語が話せたので、わたしが全く英語が分からない時に日本語で話してくれました。日が経つと英語が分かるようになってきたので、すごくいい経験になりました。

エリザベスの家は、靴を脱いで家にあがるので日本の家にある感じもありました。また、日本らしさといえば、あちらの家でお茶づけを食べさせてもらいました。とてもおいしかったです。

サンタバーバラは、イベントが多く、わたしが一番印象

の残ったのは、馬のパレードです。馬に乗っている人たちがとてもかっこよくて、手を振ったら振り返ってくれたので「いい人たちだなあ」と思いました。でも一番よかったのは、馬です。とてもかわいかったです。

日本へ帰る日にイタリア料理を食べさせてもらいました。わたしはイタリア料理がすごく好きなのですが、「なぜアメリカに来てイタリアン？」と思いました。でもすごく美味しかったです。

本当に最後の最後まで、楽しませてもらい、すごく楽しかったです。

弟のマークや犬のスノーウイとも仲良くなれ、本当にすばらしいサンタバーバラでした。また機会があったらサンタバーバラに行きたいです。



エリザベスと仲良くなった山本さん



オールドミッション教会をバックに記念撮影



サンタバーバラの祭り「フィエスタ」の会場にて



サンタバーバラ市長を訪問しました

サンタバーバラに行つて

鳥羽東中2年 江崎 悠介

鳥羽を出発した日は僕の誕生日でした。サンタバーバラに到着して、鳥羽のみんなと並んでいたら急に、サンタバーバラのみなさんが誕生日の歌を歌い始めました。時差があることを思い出して、僕のために歌ってくれているのだと分かつて嬉しかったです。到着した日にネイトとバスケットをしてすぐに仲良くなることができました。

サンタバーバラではプールで飛び込んだり、川でターザンロープをしたりして遊びました。プールは日本と違い、一気に深くなるので、アメリカでは、飛び込んで遊ぶのが普通なのだと思います。

また、ネイトの友達と一緒に海で泳いだり、サーフィンもしました。海は冷たくて潮がしょっぱかったです。

ネイトのおばあちゃんの家にも遊びに行きました。おばあちゃんには日本人だったので日本語で話もできたし、通訳もしてもらいました。餃子もごちそうになりました。食事は、肉ばかりではなくて魚がよく出され、玄米茶や緑茶

などを飲んでいたので、日本の食事みたいでした。でもハンバーガーやピザなどは大きくて食べきれないくらいでした。シヨッピングセンターが食料品しか置いていないのにすごく広くて大きかったです。

さよならブランチの時には浴衣を着てラグビーをしました。その時に、猫みたいな人形が糸でつるしてあって、目隠しをして棒で人形を叩くところから鈴やチョコなどが落ちてくるのをみんなが拾いあつたりして楽しく過ごしました。

サンタバーバラに行つて僕は、すごく楽しかったし、英語がすごく聞きやすくなったので勉強になりました。

今年の夏休みは貴重な体験ができて、忘れられない夏休みになりました。



大自然を満喫した江崎さんとネイト

サンタバーバラにいつて知ったこと

長岡中2年 野村真奈美

わたしは海外へ行くのが初めてで少し緊張していましたが、到着した時に交流中学生のミツツイとお母さんが迎えに来てくれました。最初はとても緊張してうまく話せなくて挨拶ぐらいしかできませんでした。

今回驚いたことがたくさんあります。

一つ目が、ミツツイの家には裏庭があつてとても大きく、国土が広いなと思いました。

二つ目が、ビーチが広いことです。一番奥が見えないくらいに広がっています。

三つ目が、プールパーティーをしたゲリーさんの家の庭にプールとバスタブがあつたことです。パーティーにはアメリカ以外の国の人もいて、色々な人と交流できました。

そして、四つ目がアメリカの人は知らない人にも気軽に話しかけるのが勇気あるなと思いました。それは、わたしたちがお昼を食べていると突然知らない女性が話しかけてきてびっくりしたのですが、姉の時の交流中学生のメーガン達と買い物に行った時に、

メーガンが風邪を引いている見知らぬレジの人に「大丈夫？」と言っていたので、「これって、アメリカでは普通なのだろうな」とそのとき納得しました。

もう一つ驚いたことは、日本へ帰る日に、サンタバーバラに到着した時より少し英語が上達したし、英語を好きになつていた自分にびっくりしました。

別れる時は、とても寂しく、もつといたかったです。将来、アメリカに住んでみたいので、これからもつと勉強して、頑張つて行こうと思います。

アメリカの人たちは、人と人とのつながりを日本よりも大切にしているなと思いました。この経験をこれから生かしていこうと思います。



帽子屋でいろいろな帽子を試着するミツツイと野村さん